Supported by OTA THE NIPPON Supported by OTA FOUNDATION

船 舶 電 子 機 器 装 備 工 事 ハンドブック

平成28年3月

一般社団法人 日本船舶電装協会

まえがき

電子技術は日々進化を続けています。超軽量化、軽量化、知能化と革新的な技術開発が 行われています。その技術開発の成果は、私たちの日々の生活に現れています。

私たちの周囲にある機器類の全てにマイクロコンピュータが組み込まれて、高度な性能 を達成しています。これらの電子技術の発達に支えられて、航海用機器、GMDSS設備、船内 に設置される各種の機器、それらの装置を接続する船内LAN等が船内に設備されています。 これらの設備の正常な動作をさせるためには、機器相互間の干渉や電波などの障害に対す る電磁的両立性の確保も重要です。これらの機器の設置における適切な工事の確保は、さ らに重要であります。本ハンドブックでは、設計編、工事編そして各種のデータを付録と してまとめ、座右の書として活用して戴ける構成にしております。

このように高度化、複雑化した船内設備の性能確保は、船舶の安全航行上きわめて重要 な課題となっています。併せて関係法令・規格等を体系的に整理して、弱電艤装設計者・ 工事従業者の座右の書となるようなハンドブックを作成するため、(公財)日本財団の助 成を受けて、(一社)日本船舶電装協会に「船舶電子機器装備工事ハンドブック改訂委員 会」を設置して、平成11年度に出版された「船舶電子機器装備工事ハンドブック」の改訂 版を平成26年度から2ヶ年計画で調査・検討を行いました。

ここに「船舶電子機器装備工事ハンドブック(改訂版)」の刊行にあたって、(公財) 日本財団から助成金を頂いたことに多大の感謝を申し上げると共に、執筆や編集に携わっ た各委員の方々のご努力、国土交通省や海上保安庁等関係各位のご援助に深甚の謝意を捧 げます。

このハンドブックが諸賢の参考の一助となり、斯界に貢献できますことを委員会を代表 して願っております。

平成28年3月

船舶電子機器装備工事ハンドブック改訂委員会 委員長 林 尚吾

弱電ハンドブック作成委員会委員名簿

(順不動・敬称略)

委 員	長	林		尚	吾	東京海洋大学名誉教授
委	員	荒	井	郁	男	電気通信大学名誉教授
]]		石	Л	道	夫	学識経験者
]]		片	山	瑞	穂	学識経験者
]]		長	尾	邦	久	学識経験者
]]		山	本	浩	之	(一財) 日本海事協会
]]		辻	村		聡	ジャパンマリンユナイテッド(株)
]]		渡	邊		学	ジャパンマリンユナイテッド(株)
]]		帆	保	裕	_	日本無線(株)
]]		弘	田		肇	日本無線(株)
]]		竹	浪	政	人	古野電気 (株)
]]		平	野	英	<u> </u>	(株)光電製作所
]]		草	間		寛	東京計器(株)
関係官	·庁	西		敏	英	国土交通省海事局
]]		作	田	朋	巳	海上保安庁装備技術課
]]		佐	藤	春	夫	水産庁増殖推進部

目 次

設	計	編
HAN		.1.101

第1章 一般 ···································	1
1.1 船舶安全法及び関連法規······	1
1.1.1 船舶安全法の体系	1
1 1 2 船舶安全法及び関連法規の用語	4
1 9 雷波法及び関連担則 ······	10
1.2 电波达风 两连流转 1.2.1 雷波法の休系 ······	10
1.2.1 电波运》件示 1.9.9 雪波注及75-11-11-11-11-1	10
1.2.2 电波运及URAE成则UPII的	14
1.5 加加に因りる木心守 1.9.1 冬幼竺 ···································	14
1.3.1 禾利寺	14
1.3.2 加极况则 1.3.2 冗中处 の間 声相按	15
1.3.3 国内かの関連規格	10
1.4 加加にわりる現現米件	18
1.4.1 向囲余件 ······	18
1.4.2 電源条件 ······	18
1.4.3 坂境試験 ····································	21
1.5 船舶への搭載要件	27
1.5.1 航海用機器	27
1.5.2 GMDSS設備 ······	28
1.5.3 船内通信・信号装置 ······	35
1.5.4 監視・警報装置等 ······	36
1.5.5 船舶警報通報装置	36
第2章 電源システム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37
2.1 一般給電回路	37
2.1.1 回路一般	37
2.1.2 回路の保護	37
2 1 3 給電回路の一例 ·····	38
9.9 非堂雷順 ····································	39
2.2 9Fm 电水 9 9 1 雪酒の種類と性能	39
	30 20
	/2 /2
2.2.3 HLLLLLLLLLLLLLLLLLLLLLLLLLLLLLLLLLLLL	40
2.0 μμμγy v/2Fm 电加//x 9 3 1 雪酒の種類と性能 ·····	44
	44

2.3.2 給電負荷の種類と時間		4
2.3.3 配置及び表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	45	5
2.4 補助電源 ·····		3
2.4.1 電源の種類と性能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		3
2.4.2 給電負荷の種類と時間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	46	3
2.5 蓄電池の設置要件 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		7
2.5.1 設置場所		7
2.5.2 設置方法		7
2.5.3 換気 ·····		3
2.5.4 蓄電池の保守点検		3
第3章 航海用機器		9
(前文)	····· 49	9
3.1 航海用レーダー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		С
3.1.1 概説		С
3.1.2 システム構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		1
3.1.3 空中線の装備場所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		2
3.2 プロッティング装置 ・・・・・		4
3.3 自動衝突予防援助装置······		5
3.4 磁気コンパス ・・・・・		9
3.5 ジャイロコンパス ・・・・)
3.6 音響測深機及び魚群探知機)
3.7 船速距離計(電磁式)		2
3.8 船速距離計(音響式)		4
3.9 回頭角速度計		ō
3.10 自動針路保持装置(オートパイロット)・・・・・・・・・・・・・・・・・・		3
3.11 自動航路保持装置(トラック・コントロール)・・・・・・・・・		3
3.12 G P S ・ D G P S 受信機		1
3. 12. 1 G P S		1
3. 12. 2 DGPS		2
3.12.3 GPSコンパス		2
3.13 電子海図表示装置		3
3.13.1 概説		3
3.13.2 ECDIS		4
3.13.3 ECS	75	5
3.13.4 プロッター装置	75	5
3.14 音響受信装置		3
3.15 舵角指示器		3
3.16 風向風速計(相対・真) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		7
3.17 水晶式時計		3

	3.17.1	構成と種類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	78
	3. 17. 2	特徴	78
	3. 17. 3	取扱い	79
	3. 17. 4	LAN対応水晶時計 ·····	80
ç	3.18 ソナ	<u> </u>	80
	3. 18. 1	スキャニングソナー ・・・・・	80
	3. 18. 2	セクターソナー ・・・・・	81
ç	3.19 主軸	回転計	81
ç	3.20 航海	情報記録装置 (VDR) ·····	84
	3.20.1	概要	84
	3.20.2	性能	84
	3.20.3	構成と外観 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	85
Ċ	8.21 船舶	自動識別装置(AIS) ·····	87
	3.21.1	概要及び性能	87
	3.21.2	応用	89
3	3.22 船橋	航海当直警報装置(BNWAS)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	90
	3. 22. 1	概要 ••••••	90
	3.22.2	機能	90
	3. 22. 3	システム構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	90
	3.22.4	動作	91
3	3.23 無線	方位測定機	94
第	4章 GN	ℓ DSS設備 ······	95
	(前文)		95
4	1.1 ナブ	テックス受信機・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	97
4	1.2 イン	マルサット装置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	98
4	4.3 イン	マルサット高機能グルーブ呼出受信機 ・・・・・・・・・・・・・・・・	101
4	4.4 VH	F 無線電話	102
4	4.5 VH	F デジタル選択呼出装置 ······	103
4	4.6 VH	Fテジタル選択呼出聴守装置 ······	104
4	4.7 MF	/ H F 無線電話 ····································	105
	4.7.1	MF無線電話 ······	105
	4.7.2		105
4	4.8 狭帯		105
4	4.9 MF	/HFデジタル選択呼出装置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	106
4	4.10 MF	/HFデジタル選択呼出聴守装置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	107
4	4.11 一般	通信用無線電信装置······	107
4	1.12 双方		108
	4. 12. 1	持連び式以方向無線電話装置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	108
	4.12.2	固定式双方向無線電話装置	109

4.13 極軌道衛星利用非常用位置指示無線標識装置 ・・・・・・・・・・・・・・・・	109
4.14 レーダー・トランスポンダー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	110
4.15 GMDSS設備の搭載例 ·····	111
4.15.1 条約船 ·····	111
4.15.2 非条約船 ·····	115
第5章 その他の無線装置等	118
5.1 気象ファックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	118
5.2 気象観測衛星「ひまわり」受信装置	119
5.3 海洋気象観測衛星「ノア」受信装置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	121
5.4 船上通信装置	122
5.5 衛星放送受信装置	122
5.6 新規参入の衛星航法システム/サービスプロバイダーの概要 ・・・・・・・・	123
5.7 インマルサット装置(GMDSSを除く)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	124
5.7.1 インマルサットFBB ・・・・・	124
5.7.2 インマルサットFX	125
5.8 VSAT (Very Small Aperture Terminal) ·····	129
第6章 船内通信・信号装置	132
6.1 汽笛・電子ホーン・拡声器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	132
6.2 船内指令装置(操船指令装置)	133
6.3 船内電話装置 ······	134
6.3.1 電話機の構造 ·····	134
6.3.2 共電式電話機	134
6.3.3 バッテリーレス式電話装置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	134
6.3.4 自動交換電話装置	135
6.4 エンジンテレグラフ ・・・・・	136
第7章 監視.警報装置	138
7.1 概説	138
7.1.1 監視装置の分類	138
7.1.2 警報装置の分類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	138
7.1.3 警報装置の種類 ・・・・・	139
7.1.4 警報システムの設計 ・・・・・	139
7.2 非常警報	140
7.2.1 一般警報	140
7.2.2 火災警報	141
7.2.3 消火剤放出警報	142
7.2.4 可燃性ガス警報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	142
7.2.5 救出警報	144

		7.2.6	水密滑り戸閉鎖警報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	144
	7.	3 異常	?警報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	145
		7.3.1	機関部警報	145
		7.3.2	操舵機警報·····	146
		7.3.3	ビルジ・浸水警報 ・・・・・	146
		7.3.4	貨物警報 ·····	146
		7.3.5	機器警報 ·····	147
	7.	4 警幸	&装置の適用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	147
	7.	5 ボイ	イスアラーム ・・・・・	148
	7.	6 Br	idge Alert Management System(BAM)の解説 ・・・・・・・・・・・・・・・・・	148
第	8	章 統	合化航法システム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	152
	8.	1 概要	۲ <u>.</u>	152
	8.	2 機能	٤(統合される機能) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	152
	8.	3 操作	₣と制御 ・・・・・	152
		8.3.1	操作卓 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	153
		8.3.2	トラック制御 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	154
		8.3.3	自動制御 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	155
		8.3.4	オーバーライド操舵 ・・・・・	155
	8.	4 情幸	最管理(質) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	155
		8.4.1	データの評価と分配・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	155
		8.4.2	データの整合性(一貫性)・・・・・	156
		8.4.3	データ監視 ・・・・・	156
		8.4.4	センサと情報源の選択 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	156
	8.	5 表示	÷	157
		8.5.1	デフォルト表示構成と操作モード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	157
		8.5.2	モードと状態認知・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	157
		8.5.3	情報表示 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	157
		8.5.4	ヒューマン・マシン・インターフェース (HMI) ・・・・・	158
	8.	6 技術	所要件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	158
		8.6.1	一般	158
		8.6.2	ハードウェアあるいはプロセッサのための要件・・・・・	159
		8.6.3	供給電源のための要件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	159
	8.	7 バッ	ックアップとフォールバック・・・・・	159
		8.7.1	バックアップの要件と冗長性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	159
		8.7.2	システム故障とフォールバック・・・・・	160
	8.	8 アラ	7 ート(警戒通報)管理·····	160
		8.8.1	優先度·····	160
		8.8.2		160
		8.8.3	中央警戒通報管理 (Human Machine Interface)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	161
		8.8.4	警戒通報管理の採用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	161

第9章 船内LAN ······	·· 162
9.1 概説及び定義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·· 162
9.2 特長 ·····	·· 162
9.3 LANの分類 ······	·· 163
9.3.1 接続形態(トポロジー)による分類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·· 163
9.3.2 伝送媒体による分類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·· 164
9.3.3 アクセス方式による分類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·· 164
9.4 プロトコル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·· 165
9.5 標準化の動き ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·· 165
9.6 実船適用事例 ·····	·· 167
第10章 電気艤装図 ····································	·· 169
10.1 概説	·· 169
10.2 機能図の作成要領 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·· 170
10.2.1 電力調査表	·· 170
10.2.2 蓄電池容量計算書	·· 171
10.2.3 電路系統図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·· 173
10.2.4 配置図	·· 175
10.2.5 結線図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·· 175
10.3 工作図の作成要領 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·· 176
10.3.1 配線図	·· 176
10.3.2 配線表	·· 177
10.3.3 取付図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·· 177
10.3.4 製作図	•• 178
第11章 電路計画	·· 179
11.1 概要 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·· 179
11.2 ケーブルの適用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·· 179
11.2.1 一般ケーブル	·· 180
11.2.2 特殊ケーブル	·· 181
11.2.3 ケーブルサイズの決定法	·· 182
11.3 ケーブルの布設	·· 184
第12章 雜音 電波障害	·· 186
12.1 電磁環境と電波障害 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·· 186
12.1.1 電磁的両立性(Electro-Magnetic Compatibility) ・・・・・・・・・	·· 186
12.1.2 妨害雑音源と伝播経路 ······	·· 186
12.1.3 妨害雑音源の分類	·· 187
12.2 電波障害に関する規格と用語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·· 187

12.2.	1 電波障害に関する規格・・・・・	187
12.2.	2 電波障害に関する主な用語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	188
12.3	\ 体感電と電磁波の許容値・・・・・	190
12.3.	1 人体感電	190
12.3.	2 電磁波の生体への影響	191
12.4	電波障害の測定法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	192
12.4.	1 電子機器のEMI(電磁妨害波)の測定法	192
12.4.	2 イミュニティの測定法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	193
12.5 7	と中雑音 ·····	197
12.5.	1 水中雑音の種類	197
12.5.	2 周囲雑音	197
12.5.	3 船舶発生雑音 ····································	198
12.6	電波障害への対策例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	199
12.6.	1 遮蔽(シールド)による対策	199
12.6.	2 放射性妨害と対策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	200
12.6.	3 伝導性妨害と対策 ・・・・・	201
第13章 计	近未来に導入される可能性のある航海・通信機器及び国際動向 ・・・・・・・	204

13.1 新し	_く搭載が予想される機器·····	204
13.1.1	船舶用固体素子レーダー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	204
13.1.1.	1 パルス圧縮方式固体素子レーダー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	204
13.1.1.	2 FM-CW方式の小型レーダ・・・・・	207
13.1.2	電子傾斜計 ·····	211
13.1.3	AISの応用(AIS-EPIRB, AIS-SART等)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	211
13.1.4	VHF Data Exchange System (VDES)	212
13.1.5	HF E-mail and data systems	212
13.2 国際	祭動向 ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	213
13.2.1	e-Navigationの動向 ・・・・・	213
13.2.2	GMDSS近代化の動向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	213
13.2.3	地上系電波航法システムの衰退とGNSS・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	214
13.2.4	ICS (Integrated Communication System) の概念	215
13.2.5	極海航路規約の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	215
13.3 その	D他 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	216
13.3.1	準天頂衛星	216

								Т	事	彩		
第	1章	電	気艤装	と工事	一般	•••		• • • •		•••		
]	-1	電気	〔艤装	工事の	の作業	食の沢	記れ・・	• • • •		• • •		
]	-2	電気	〔艤装	工事0	り計画	「と읱	È理··					
第	2章	ケ	ーブル	レの布	設工	事・						
2	2-1	ケー	-ブル	の選打	尺・・・	•••		• • • •		•••		
	2-2	1-1	ケー	ブルの	り記号	<u>.</u> .		• • • •		• • •		
	2-2	1-2	ケー	ブルの	り種類	Į • • •		• • • •		• • •		
	2-2	1-3	ケー	ブルサ	ナイフ	、の汐	 定法			• • •		
2	2-2	ケー	-ブル	の布讀	殳	••••		• • • •		• • •		
	2-2	2-1	ケー	ブルの	り布設	と 経路	各	• • • •		• • •		
	2-2	2-2	ケー	ブルの	り耐炎	{性		• • • •		• • •		
	2-2	2-3	ケー	ブルの	り接地	1.		• • • •		• • •		
	2-2	2-4	ケー	ブルの	り保護	· ·		• • • •		• • •		
2	2-3	ケー	-ブル	の支持	寺・固	定				• • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
	2-3	3-1	ケー	ブルの	の支持	宇金牧	by ••			• • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
	2-3	3-2	ケー	ブルの	り固定	<u> </u>				• • •		
	2-3	3-3	電線	管・		•••				• • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
2	2-4	ケー	-ブル	の貫道	通・導	入				• • •		
	2-4	4-1	貫通	金物类	湏 ・・	•••				• • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
	2-4	4-2	防水	区画の	り貫通	<u>í</u>				• • •		
	2-4	4-3	非防	水区画	町の貫	通				• • •		
	2-4	4-4	防火	仕切り	りの賃	通				•••		
	2-4	4-5	機器	へのな	テーフ	ル準	算入 ・			• • •		
2	2-5	ケー	-ブル	の端ヲ	末処珥	1.				•••		
	2-5	5-1	ケー	ブルの	り切断	ŕ		• • • •		• • •		
	2-8	5-2	ケー	ブルの	り接地	1.		• • • •		• • •		
	2-8	5-3	線さ	ばき音	部の防	j湿处	L理・	• • • •		• • •		
	2-5	5-4	端末	結線如	心理	•••				• • •		
	2-5	5-5	同軸	ケーフ	ブルの)接約	売 ・・	• • • •		• • •		
	2-8	5-6	ケー	ブルの	ワクラ	シンフ	7°					
2	2-6	光フ	ファイ	バケー	ーブル							
	2-6	6-1	ケー	ブルの	り布彰	ι						
	2-6	6-2	端末	処理		•••				• • •		
	2-6	6-3	損失	測定詞	式験	•••						

第3章 導	波管等の布設工事 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	257
3-1 概該	ž	257
3-1-1	導波管等の種類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	257
3-1-2	導波管等の布設経路の決定·····	257
3-1-3	導波管等の取付け ・・・・・	258
3-2 矩刑	/導波管 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	259
3-2-1	接続用部品など ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	259
3-2-2	導波管の接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	260
3-2-3	導波管の布設 ・・・・・	260
3-3 フレ	ィキシブル導波管 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	261
3-4 楕円]導波管 ·····	262
3-4-1	導波管の構造 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	262
3-4-2	導波管の接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	262
3-4-3	導波管の取付け	264
3-5 同車	曲管	265
3-5-1	同軸管の構造 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	265
3-5-2	同軸管の接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	265
3-5-3	同軸管の布設方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	271
第4章 機	器の取付工事(接地を含む)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	273
4-1 機器	最近付一般 ·····	273
4-1-1	取付場所	273
4-1-2	取付台 ·····	274
4-1-3	取付方法 ·····	274
4-2 取付	†ボルトなどの選択及び使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	274
4-2-1	ボルト、ナットの選択 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	275
4-2-2	機器の取付要領	275
4-3 機器	景取付方法 ·····	279
4-3-1	床置形機器の取付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	279
4-3-2	壁取付形機器の取付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	280
4-3-3	埋込形機器の取付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	281
4-3-4	卓上形機器の取付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	281
4-3-5	接続箱など ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	282
4-3-6	個々の機器の装備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	283
4-3-7	居室内の機器の装備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	292
<u></u>		
第5章 空	中線の取付工事(接地を含む)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	293
5-1 空中		293
5-2 イン	/マルサットCアンテナ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	295
5-3 自立	Σ形アンテナ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	298

Ę	5-4 垂直	Eダイポールアンテナ ・・・・・	302
Ę	5-5 ホイ	'ップ空中線 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	304
Ę	5-6 追尾	と形衛星通信用アンテナ・・・・・	307
Ę	5-7 レー	-ダー空中線 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	310
Ę	5-8 その)他のアンテナ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	312
	5-8-1	MF/HF帯用プリアンプ付きアンテナ ・・・・・・・・・・・・	312
	5-8-2	線条空中線 ······	313
	5-8-3	無線方位測定機用アンテナ・・・・・	315
	5-8-4	GPS受信機用アンテナ・・・・・	316
	5-8-5	無指向性TVアンテナ ・・・・・	316
Ę	5-9 船底	和付送受波器	317
Ę	5-10 衛	星EPIRB ·····	319
第	6章 妨	書雑音対策等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	320
(5-1 ケー	-ブル相互間のノイズ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	320
	6-1-1	ノイズの種類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	320
	6-1-2	ノイズの影響の改善・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	321
6	5-2 機器	開アースターミナル ・・・・・	322
6	6-3 船内	9機器からのノイズ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	323
(5-4 機器	時間の通信の信号形態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	325
(6-5 水中	1雑音対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	325
	6-5-1	水中雑音の原因と対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	325
	6-5-2	水中雑音の測定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	327
6	5-6 落霍	対策 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	327
6	6-7 船体	s電流対策 ·····	328
6	5-8 電波	Z障害対策 ·····	330
	6-8-1	電波障害の原因と症状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	331
	6-8-2	安全基準と予防方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	331
第	7章 試験	获●検査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	333
	7-1 測定	『器具の種類と測定法 ····································	333
	7-1-1		334
	7-1-2	直流電上.電流計 ····································	334
	7-1-3	絶縁抵抗計(メガー) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	335
	7-1-4	周波 数 測 定 器 (カ ウ ン タ) · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	335
	7-1-5	空 甲 綠 電 刀 計 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	337
	7-1-6	オシロスコーブ (シンクロスコーブ)	338
	7-1-7	空胴周波数計(96Hz帯)	340
	7-1-8	電界強度測定器	341
	7 - 1 - 9	標準信号発生器	342

7-1-10	スペクトル分析器 ・・・・・ 34	13
7-1-11	EPIRBテスター ・・・・ 34	14
7-1-12	AISテスター・・・・・・ 34	15
7-2 測定	器具の管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
7-3 試験	・検査 ······ 34	18
7-3-1	一般	18
7-3-2	試験方案の作成 ····································	48
7-3-3	点検・確認事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
7-3-4	電路の絶縁抵抗試験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3!	50
7-3-5	作動運転試験 •••••••••• 38	50

付 録

付録-01	国際単位系(SI)及び記号・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	付1
付録-02	周波数の慣用的分類表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	付6
付録−03	航海計器に使用されている周波数帯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	付7
付録-04	GMDSSでの使用周波数······	付8
付録-05	156-174MHz間の周波数帯における海上移動業務の局の送信周波数・・・・・	付9
付録-06	DGPS局の周波数 ······	付14
付録-07	(1)NAVAREAとナブテックス送信局の識別符号・・・・・・・・・・・・・・・	付15
	(2)ナブテックス放送のカバレージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	付16
付録-08	わが国のナブテックス放送の海岸局、識別信号、放送時間・・・・・	付17
付録-09	ナブテックス放送のパターン・・・・・	付18
付録-10	DSCによる遭難呼出し/個別呼出しのシーケンス・・・・・	付19
付録-11	わが国の気象ファクス放送局周波数表・・・・・	付20
付録-12	電波の型式の表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	付21
付録-13	据置蓄電池の容量算出法(抜粋)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	付22
付録-14	障害物による受信/送信信号減衰量の概算方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	付26
付録-15	無線機器用チェクリスト(一例)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	付28
付録-16	舶用電気図記号:通信、計測、航海及び無線関係・・・・・・・・・・・	付31
付録-17	過去の船舶電子機器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	付43
付録-18	用語と解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	付44
付18.1	和文 ·····	付44
付18.2	英文 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	付57